

はしがき

英語の基礎・基本を身につけて欲しい——これが、本書の作成を決意した時の私たちの素直な気持ちでした。

では、「英語の基礎・基本」っていったい何でしょうか。私たちは、「英語の基礎・基本」を「身近なこと」や「自分自身のこと」を表現するための最低限の知識であると考えています。例えば、文法で言うと、主語、動詞、目的語などがどのような順序で並んでいるかを理解すること、be 動詞と一般動詞の使い方の違いを理解することだと考えています。間接話法や仮定法などについて理解することも大切ではありますが、こうしたちょっと難しい話は、英語で身近なことを言うことができたり、自己紹介ができるようになってから、じっくり勉強してもいいのではありませんか。ひとつの言語を習得するには多大な時間を必要とします。限られた時間で、あれもこれもと欲張るわけにはいきません。私たちのもうひとつの願いは、みなさんに英語学習に興味・関心をもってもらいたいということです。いったん興味・関心を持てば、学期が終了した後でも一人で英語学習に取り組むことができると考えるからです。

みなさんは、英語学習の目的と言えば、英語の資格試験でよい成績を残すことだと思いますか。よい成績を残すことができれば、それは素晴らしいことです。しかしそのためには、難しい単語や広範囲にわたる文法知識が必要となるでしょう。ですが、自分や家族のことを簡単な英語で話せないのに、難しい単語や規則を一生懸命覚えることに私たちは疑問を感じます。覚えることが多すぎて目標を見失ってしまう、ということもあるかもしれません。難しい試験を受ける前に、まず身近なことを英語で表現する練習をしてみませんか。覚えることはそんなに多くはないと思いますよ。

このテキストは、大阪のある会社で **Kazuya** という若者が海外から赴任してきた **Jill** と出会い、お互いの文化の違いを発見し、仕事で失敗を繰り返しながらも成長していくというストーリーを軸に、読む・聴く・書く・話すといった力を総合的に養成しようというものです。各 **Unit** は、**Reading, Grammar, Listening, Activities** の 4 つの **Section** に分かれています。**Reading, Grammar, Listening** の **Section** で学んだことを活用して身近なことを表現してみよう、というねらいで **Activities** を用意しています。**Activities** がスムーズにできれば、各 **Unit** の内容を「自分のものにした」と考えていいでしょう。着実に消化していけば、各 **Unit** で何らかの達成感を得て、さらにテキストを最後まで読み進めたときに「英語で身近なことや自分自身のことを表現することができる」という大きな達成感を味わっていただけるのではないのでしょうか。

目標としている表現力のレベルはどちらかと言えば易しいものです。登場人物が使う表現もほとんどがそれほど難しくはありません。しかしこのような表現でもしっかり身につけておけば、主人公の **Kazuya** のように、将来ちゃんと英語を使って仕事ができるのです。英語は試験のためだけに勉強するものではありません。使ってこそその英語です。表現するためのことばです。さあ、みなさんもぜひ **Kazuya** を目標にして、最後まで根気よく英語学習を続けてください。「英語学習って楽しいな!」「なるほど!」と感じる場面もきっとあると思います。

最後になりましたが、本書の出版にあたり金星堂の皆さんに心よりお礼申し上げます。皆さんとお仕事をする機会を与えていただき著者一同こころより感謝しております。

著者一同

Contents

Unit	Topic	Target Language Form	Listening Points	Activities	Page
0	文の要素	主語, 動詞, 補語, 目的語			1
1	Welcome to the Company!	I am ____. He is ____.	短縮形の音	紹介する	6
2	For All Your Needs!	Is he ____? Are you busy?	Yes / No 疑問文のイントネーション	人を描写する (1)	12
3	Trouble with a Machine	This is not ____. You are not ____.	[l] と [r]	人を描写する (2)	18
4	A Business Letter	We play ____. You use ____.	[s] と [ʃ]	習慣を話す	24
5	Customers' Questions	Do you have ____? Do you like ____?	前置詞と冠詞の発音	質問する	30
6	Tips for Visiting Japan	I don't ____. We don't ____.	[t] の消失	don't を使って言う	36
7	We Are Invited!	Kazuya has ____. She has ____.	語末の [g] の連結	三人称で表現する	42
8	Where Are We?	What do you ____? Where do you ____? Who do you ____?	Info Questions のイントネーション	情報を聞き出す (1)	48
9	Immigration	When do you ____? How does he ____? How long do you ____?	WH 疑問に対する応答文の強勢	情報を聞き出す (2)	54
10	Can I Ask You a Few Questions?	How many ____? How much ____?	[d] の消失	情報を聞き出す (3)	60
11	A Large Order!	Why do you ____?	[k] の消失	理由をたずねる	66
12	Cheers!	I can ____. You must ____. He will ____.	"a", "an" の連結	可能・義務・予定を表現する	72
13	It's Quick and Easy!	It's in ____. They are on ____.	[t] の音が [D] に変わる	物の位置を表現する	78
14	The Path to Success	Pass me ____. Don't ____. Please open ____.	語末の [l] の音	指示・命令する	84

Welcome to the Company!

section **1** READING

Kazuya が働いている会社に、Jill が初めて出勤してきました。二人の初めての出会いです。



- Kazuya:* Hello, Ms. Kirkson. Welcome to Select Stationery.
I'm Kazuya Furukawa. Pleased to meet you.
- Jill:* Pleased to meet you too, Kazuya.
- Kazuya:* I'm a salesperson here. This is my business card.
- Jill:* Thank you. Here's my new card.
- Kazuya:* This is Natsuko Taniya, and this is Hideki Saito. They are our office staff. And this is Ms. Jill Kirkson, our new salesperson.
- Hideki:* Hello.
- Natsuko:* Hello. Nice to meet you.
- Jill:* Thank you for the warm welcome, everyone!

Notes

stationery 「文房具」 salesperson 「営業担当（者）」
business card 「名刺」 単に card と省略することもある warm welcome 「あたたかいお出迎え」

Exercise 1

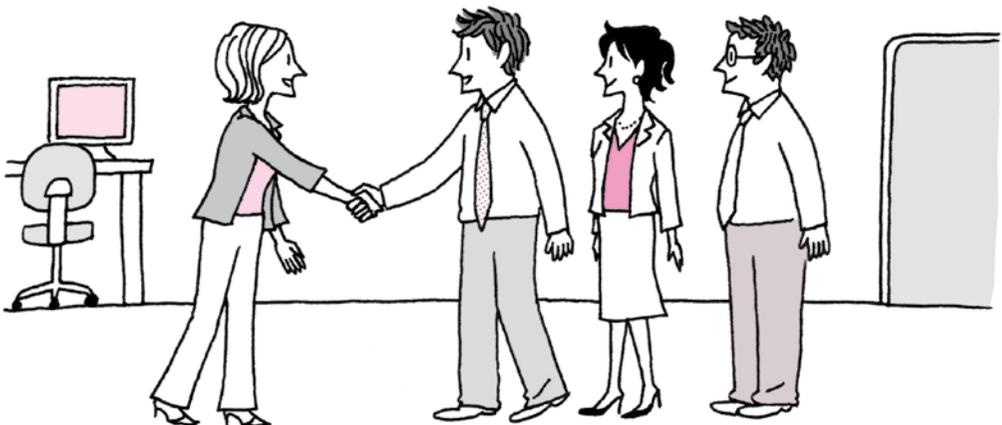
本文の内容に合っているものには T (True), 合っていないものには F (False) を () に書きましょう。

1. Kazuya と Jill は今、駅で話をしている。 ()
2. Jill は今日まで Hideki と会ったことがなかった。 ()
3. Kazuya は、Jill から名刺を受け取った。 ()
4. Natsuko は今、席をはずしている。 ()
5. Kazuya は、Natsuko に Hideki を紹介している。 ()

Exercise 2

会話文をもとに下線部に適切な言葉を入れましょう。会社名、family name は英語のままにかまいません。

1. 登場人物が働いている会社名 (英語) : _____
2. Jill の family name : _____
3. Kazuya の仕事 : _____
4. Natsuko の family name : _____
5. Hideki の family name : _____
6. Jill の仕事 : _____



section 2 GRAMMAR

《主語 + be 動詞 + 》

be 動詞は主語によって am, are, is と変わります。下の図の①～④を言いたいときに使います。



Exercise 1

() 内に適切な be 動詞 (am, is, are) を入れましょう。

- Jill () hardworking.
- My brother () lazy.
- We () tired.
- You () good-looking.
- I () a salesperson.
- They () office workers.

Exercise 2

日本語に合うように () 内の語句を並べ替えましょう。文頭にくる文字も小文字で表記しています。

- 彼はよく働くんですよ。(is / hardworking / he)
_____.
- 私たちはここの従業員です。(we / employees / are)
_____ here.

Exercise 3

次の日本語を英文にしましょう。

- Jill は疲れています。
_____.
- 彼らは医者です。
_____.

section **3** LISTENING**Exercise 1**  CD 03

Kazuya と Jill の会話を聞いて、話題にあげられていることを下から選び○をつけましょう。

- a. Kazuya の出身地
- b. 社長の出身地
- c. 社長が就任したばかりであること
- d. Kazuya が入社したばかりであること

リスニングのポイント

★短縮形の音★

2つの語が1つの語のように発音されることがあります。下の例のように、1つの語として表記されるものもあります。

Example CD 04

1. I am happy. ➔ I'm happy.
2. You are very kind. ➔ You're very kind.

Practice CD 05

CD を聞いて空欄を埋めましょう。

1. () 20 years old. 2. () right.
3. () both new to the company.
4. () very hot today. 5. () out to lunch now.

Exercise 2 CD 06

Kazuya と Jill の会話をもう一度聞いて下線部を埋めましょう。

Jill は ① _____ (国名),
② _____ (都市名) の出身で,
その都市は①の ③ _____ にあります。
この会社の社長は ④ _____ という人ですが, Jill は, はじめ
⑤ _____ さんと呼んでいました。

Exercise 3 CD 07

CD を聞いて書き取りましょう。

Kazuya : _____

Jill : _____

section 4 ACTIVITIES

- (1) 例にならって、隣に座っている人、または有名人のことを英文にしましょう。空欄を埋めて英文を完成させてください。

例：	Ken Hirai	is	a very good singer.
	My brothers	are	tall.
1.			good-looking.
2.			very popular in Japan.
3.			a very good actor.
4.			cute.
5.			very intelligent.
6.			cheerful.

- (2) 上の英文を参考に、自分のことを表現する英文を3つ作りましょう。

① _____

② _____

③ _____

次に誰かとペアになり、上の(2)で作った英文をできるだけ見ないでパートナーに伝えてください。伝え終わったら、交代して、今度はパートナーの答えを下の表に英語で記入してください。“Hello. My name is …”で始めてみましょう。

名 前	①	②	③
Kazuya Furukawa	hardworking	tall	a good baseball player